

平成 18 年度 海外派遣事業

事業名：	地域伝統芸能全国フェスティバルさっぽろ」を活用した国際交流プロモーション事業（VJC 事業）
期日：	平成 18 年 9 月 6 日（水）～9 月 10 日（日）
実施場所：	北海道内
招聘団体：	中国獅子舞（北京市少林武術学校獅子舞団・中華人民共和国北京市）／サムルノリとプンムルペ（釜山ハンメチーム・大韓民国釜山市）
内容：	①中国、韓国より伝統芸能団体それぞれ 1 団体計 2 団体を招聘し、9 月 8 日と 9 日の 2 日間にわたり「地域伝統芸能全国フェスティバルさっぽろ」で公演していただいた。 ②韓国、台湾、中国、香港の国、地域から旅行会社 14 社、航空会社 3 社とマスコミ 8 社、計 25 社を招聘し、札幌ドームでの全国フェスティバルの見学、北海道の観光地（登別温泉、白老、洞爺湖温泉）及び札幌市を中心とした視察・取材、伝統文化・工芸の体験を行うと共に地元の観光・宿泊施設、旅行会社等との意見交換会を行った。



平成 18 年度 海外派遣事業

事業名：	地域伝統芸能を活用した日中青少年観光交流促進事業（VJC 事業）
期日：	平成 18 年 9 月 21 日（木）～9 月 24 日（日）
派遣先：	中国 北京
派遣団体：	岩手県立雫石高等学校（郷土芸能委員会・岩手県）／神奈川県立愛川高等学校（伝統文化選考・神奈川県）／熊本県秀岳館高等学校（和太鼓部・伝承芸能雅太鼓 熊本県）
内容：	日中青少年の文化交流を通じて、教育旅行等青少年を中心とする訪日旅行の促進を図るため、日本の高校の伝統芸能団体（団体、計 51 名）を中国に派遣し、日中学生による伝統芸能の交流公演等、次の事業を行った。 ①北京市宣武区の少年宮大劇場（青少年のための劇場）で、日本側の 3 団体と中国側の 5 校がお互いの伝統芸能を披露しあう伝統芸能の交流公演を実施した。北京市の学生や先生方など 500 名が観覧し、日本の伝統芸能を楽しんだ。 ②日本から参加の 3 校の生徒 51 名と、中国側の 5 校 34 名による、文化交流などをテーマにした意見交換会を行った。 ③日本から 3 団体が、北京市国際旅行文化祭に参加し、「大営観光リゾート村屋外ステージ」で、諸外国の伝統芸能団体とともに公演を行った。 ④日本から参加の自治体観光関係者及び引率の先生から中国側旅行社に対して教育旅行誘致に関する説明会を実施した。



平成 18 年度 海外派遣事業

事業名：	地域伝統芸能を活用した日韓青少年観光交流促進事業（VJC 事業）
期日：	平成 18 年 9 月 21 日（木）～24 日（日）
派遣先：	韓国 ソウル市
派遣団体：	沖縄県立南風原高等学校（郷土芸能部・沖縄県）／熊本県立苓明高等学校（郷土芸能部・熊本県）／岩手県立北上翔南高等学校（鬼剣舞部・岩手県）
内容：	日韓青少年の文化交流を通じて、教育旅行等青少年を中心とする訪日旅行の促進を図るため、日本の高校の伝統芸能団体 3 団体計 63 名を韓国に派遣し、日韓学生による伝統芸能の交流公演等、次の事業を行った。 ①韓国の学校を訪問し、学校の体育館・講堂等においてお互いの伝統芸能を披露し合うなど交流公演を実施した。多くの生徒が観覧し、日本の伝統芸能を楽しんだ。また、学校の授業の様子をみせていただくなど交流を深めた。 ②日本から参加の 3 校の生徒 63 名と韓国側 3 校 63 名の生徒の間で相互交流促進等をテーマとする意見交換会を実施した。 ③日本から参加の 3 団体と、韓国ソウル市内の高校 3 校と大学 1 校の合計 7 つの伝統芸能団体がソウル大学路マロニエ公園で交流公演を実施した。また、その際、日本側から同行した関係自治体の観光関係者から観光宣伝を実施した。 ④日本から参加の 3 団体は、ソウルで開催中の「日韓交流おまつり 2006」に参加し、5 万人の観衆に伝統芸能を通じて日本の魅力をアピールした。



平成 18 年度 海外派遣事業

事業名：	「まつりイン台湾 2006」における伝統芸能を活用した台湾からの観光客誘致事業（VJC 事業）
期日：	平成 18 年 11 月 4 日（土）～5 日（日）
派遣先：	台湾 台北市
派遣団体：	岩手向川原虎舞（岩手県）／越中五箇山こきりこ唄保存会（富山県）／広島山川流たちかわ会（銭太鼓）（広島県）／よさこい鳴子踊り十人十彩（高知県）／琉楽座（沖縄県）
内容：	①岩手県の「岩手向川原虎舞」、富山県の「越中五箇山こきりこ唄保存会」、広島県の「広島山川流たちかわ会（銭太鼓）」、高知県「よさこい鳴子踊り十人十彩」、沖縄県の「琉楽座」5 団体を台北市に派遣し、国父記念館前広場で開催された「まつりイン台湾」会場で 2 日間にわたり一般市民を対象に公演し、伝統芸能を通じて日本の魅力をアピールした。 ②同会場内に出演した 5 団体の地元を中心に観光宣伝を行うブースを設け、それぞれ地元の観光関係者が一般の方々に対し観光 PR を行うとともに、台湾の旅行会社に対する説明会を実施した。 ③台湾最大の旅行博である台北国際旅行博覧会において、オープニングセレモニーのアトラクションとして派遣した 1 団体による伝統芸能の公演を行い、日本全体の観光 PR に努めた。



平成 18 年度 海外派遣事業

事業名：	伝統芸能を活用した日豪青少年観光交流促進事業（VJC 事業）
期日：	平成 18 年 12 月 6 日（水）～10 日（日）
派遣先：	オーストラリア シドニー
派遣団体：	YOSAKOI ソーラン踊り（北人・北海道）
内容：	日豪青少年の文化交流を通じて、教育旅行等青少年を中心とする訪日旅行の促進を図るため、日本の代表的なお祭りである「YOSAKOI ソーラン」踊りを演じる北海道の大学生団体（25 名）をシドニーに派遣し次の事業を行った。 ①シドニーの二つの高校で、それぞれ YOSAKOI ソーラン踊りの公演を行い、生徒と先生方に伝統芸能を通じて日本の文化、日本の魅力を楽しんで頂いた。また、公演の後、YOSAKOI ソーランのメンバーと学校の生徒との間で、文化交流、意見交換等を行い友好を深めるとともに、日豪両国の相互理解を進めた。 ②ダーリングハーバー（東京のお台場のようなところ）で、一般市民を対象に YOSAKOI ソーラン踊りを計 3 回公演し、その際、市民の方々に踊りに参加してもらった。また、公演会場の隣にブースを設営し、JNTO の関係者と北海道の観光関係者による観光宣伝、観光説明を実施した。 ③シドニーのホテルに地元旅行業者を招き、JNTO 及び北海道観光関係者による観光説明会を実施した。このアトラクションとして、YOSAKOI ソーラン踊りの公演を行った。

